

青森支部の一年～地域活動をすすめる～

本号では、子どものネットリスク教育研究会青森支部の今までの活動を振り返りながら、地域でネットリスク啓発活動を進める上でのポイントをまとめていきたいと思っております。子どものネットリスク教育研究会青森支部(以下青森支部)は2018年夏にそれまで全国組織であった子どものネットリスク教育研究会(以下本部)から「もっと地域に根ざした活動を行う」ために支部として独立しました。

支部として独立し、約3年が経とうとしています。まだまだ組織としてはよちよち歩きですが、このニュースを見ている方々が地域活動をさらに充実させるための一助を担えれば幸いです。

青森支部では主に6人のメンバーで講演を行っております。教員・元教員4名、大学職1名、民間企業1名の内訳となります。講演は平日の日中に行われることが多く、さらに学校の場合は夏休み前や冬休み前といった長期休業前に依頼が重なるケースがあります。各自分担をしながらなるべく断らないように依頼を受けるようにしています。

講演実績 2019年4月～2021年3月

対象	件数
保育園・幼稚園	4
小学校	22
中学校	2
高校	4
大学生	1
保護者	17
地域住民	8
教員研修会	13

集計を取り始めた2年間で講演回数は63回となりました。(小学校・中学校・高校は生徒+保護者(+教員)という形も多いため、左記の表を合計しても講演回数とは一致しません)

周知の通り、2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、講演を中止したり、計画していたことを変更したりすることも多く、2020年度は2019年度に比べ、大きく減少しました。しかし、2020年度の特徴としては「小学生への依頼」が急増している点です。

コロナによる臨時休校の弊害を感じている先生方が多いのではないのでしょうか？

青森支部では下記のように依頼団体とインストラクターで連絡を取り合い、講演を実施しています。

